



CHARTERED SEPT. 11, 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2016 - 17 会長主題

招かれた者としてふさわしく

あずさ部長	浅羽俊一郎 (東京山手)	「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Joan Wilson (カナダ)	“ Our Future Begins Today. ” 「私たちの未来は、今日より始まる」

会長 金本伸二郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 増野 肇・飯野毅与志 / 会計 中村孝誠
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 松本竹弘

2016年 9月例会

<ユースの月>

とき 9月20日(火) 18:30~20:30
 ところ 山手センター 101号室
 受付 上妻英夫さん、飯島愛子さん
 司会 尾内昌吉さん
 開会点鐘 会長
 モットー・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈禱 司会者
 ゲスト・ビジター紹介 会長
 会食 一同
 ハッピーバースデー
 楽しい歌 鈴木田裕子さん
 卓話 「原子力を学ぶ」
 公益財団法人 日本科学技術振興財団
 人材育成部主査 掛布 智久さん
 山手Yの小窓から 担当主事
 ニコニコ 一同
 諸報告 担当主事、会長
 閉会点鐘 会長

当番[第1班] 功能、上妻、尾内、飯島 (愛)

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』
 “ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

主に望みをおく人は新たな力を得
 鷲のように翼を張って上る。
 走っても弱ることなく、
 歩いても疲れない

イザヤ書 40章 31節

8月 HAPPY BIRTHDAY

鈴木田裕子さん 9日 浅羽俊一郎さん 20日

会費の納入は、会計(中村君)への納入または
下記銀行口座への振込みをお願いします。

三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

8月報告

会員在籍数		16名
例会出席者	メン	10名
	メネット	一名
ゲスト・ビジター		一名
会員出席率		63%
ニコニコ	一円 (累計 11,900円)	

B F 国内切手 一kg 外国切手一kg



8月納涼例会＋ヨルダン会 報告

8月23日（火）18：30～20：30

高田馬場駅前「与志乃」

出席：浅羽、上妻、飯島、飯野、尾内、尾内(規)、
金本、功能、中村、松本 10名

リオ・オリンピックが閉幕し、また、前日に大雨を降らした台風9号も去って、ちょうど一息ついたという頃合いで、納涼例会が開かれました。鈴木田さん夫妻は引越しの都合で、また増野さんはけがのためなどそれぞれのご事情で出席できない方があり、10名の出席者になりましたが、話が弾んで楽しいくつろいだ会になりました。

他のお客さんも一緒に部屋なので、いつものセレモニー的なプログラムは抜き、金本会長が小さなベルを鳴らし、ビールやウーロン茶で乾杯し、後は料理を食べながら歓談しました。

台湾の台北で開催された国際大会に出席した尾内さんから、大変よく準備された大会であったこと、大会実行委員長の藤井さん（江東クラブ）が立派な働きをされたこと、尾内さんが昼食会の食前感謝の祈りを英語でされたことなどの報告がありました（詳細は別記報告を参照）。同大会に出席しユース関係のプログラムに深く関与した浅羽さんからは、日本のユース代表の育成強化の必要が報告されました。

松本さんからは、「東京YMCA」7/8月号に掲載された東京YMCA2016-18中期計画の中

の山手会館改修計画に関して、過日、山手会館の耐震検査が実施されたことが報告されました。

YMCA 夏祭り

中村孝誠

8月27日（土）恒例のYMCA夏祭りが東陽町センターで開催されました。私は2時頃より参加しましたが、すでに食べ物等は売り切れていました。私には昨年より多くの参加者がいたように思いますが、実際には少ないのではとの話もありました。しかし子供たちは元気にいくつかのイベントを楽しんでいたようです。お祭りも後半を迎えフルバンドの演奏の前で楽しくダンスをしたり手拍子をしたりして会場は熱気を帯びてきましたが、ふと周りを見ると何人かのワイズは椅子に腰かけ居眠りをしていたようです。でも最後の抽選会が武蔵野多摩クラブの山口ワイズの司会でスタートするとなぜか疲れが無かったように耳と目をぱっちり開き山口ワイズの番号発表を聞き入っていました。番号を発表する度にあちらこちらで溜息やら歓声が上がり、楽しみを皆で分かち合う事が出来ました。ここでうれしいニュースです。尾内ワイズが最後に目玉商品の折り畳み自転車をゲット、尾内ワイズはくじ運が強く毎回何かをゲットしていますが今回は最高の賞品でした。

早速に尾内ワイズは功能ワイズに電話でこの喜びを語り、自転車は山手学舎に寄付する旨を伝えたとのことです。



第72回 ワイズメンズクラブ国際大会 に参加して

尾内昌吉

ニーハオ!

前回のインド・チェンナイで開かれた第71回大会に引き続き、今回も台北で8月4日～7日に開かれた国際大会（大会実行委員長は東京江東クラブの藤井さん）に参加した。参加者は800名、（内、日本からは186名）ユースは97名、山手クラブからは浅羽さんと私共の3名が参加した。

第1日目

14:00 よりスケジュール通りに開会、フラグ入場以下例年通りのセレモニーと進みワイズソングに続き「幸せなら手を叩こう」の曲に合わせて英語の替え歌で歓迎された。また大会実行委員長の藤井さんは、この美しい国（フォーモサ）によるこそお出で下さいました。そして孟子の教えである天、地、人をスローガンに掲げた本大会を楽しんで下さいと挨拶された。

基調講演では黄 光彩博士の「科技将如何影響人類の未来」と題して人類の将来に科学技術が如何に影響を及ぼすかについて興味深い話があった。続いて今回の100名を超すマーシャルの方々につき緑色が英語、ピンク色が日本語、茶色が北京語と色分けされたジャンバーを着た方々を紹介、何か不明な点は夫々の方に聞いて下さいとのアナウンスがあった。

19:00 より直前国際会長主催の晩餐会に出席
同じテーブルに着いた大会ロゴマーク「天・地・人」を書いた書家の周さんともお話しが出来た。

第2日目

国際書記西村さんによるレポートがあったが最初に全員で前後左右のメンバーに「ニーハオ！」と挨拶を交わした後年次報告に移った。

主な点は①会員数の減少傾向に歯止めをかけ、2022年のワイズ100周年に向けて50000人を目標に会員増強をはかる。②国際の本部はジュネーブに残すが2016年10月よりタイ・チェンマイにサテライトオフィスを置き活動する。③ワイズ100周年記念大会は恐らくアメリカで行われると思う。④ワイズの組織もクラブが最上段になるよう考慮中、との報告があった。

昼食

今回小生がこの昼食会での食前感謝を担当するよう大会実行委員長の藤井さんより依頼があり、お引き受けしたものの如何に祈るか悩みました。早速教会の牧師先生に相談、短く、格調高く祈りなさいと祈祷文を作り、アメリカ人の会員に読んで頂き、それを録音し、1週間で暗誦して当日に備えました。壇上に上がり司会者より参加者中の最高齢87歳のオウチさんと紹介され一生に一度の経験でしたが500人の世界からのメンバーを前に最大の奉仕が出来ました。感謝、感謝、感謝。



食前感謝の祈り

午後からの分科会では①ワイズメネット②CSとRBM③2022年に向けて④EMC⑤YMCAの5グループに分かれて討議を行った。私共は⑤に参加、山田公平氏がYとY'Sが協働する大切さを強調された。浅羽さんは②のCSとRBMのグループでRBMの部分の進行役を務められた。彼は別にユースコンボケーションにオブザーバーとして参加する等ユースに対しても気を配っておられた。休憩の後アジア・太平洋地区会議に出席、

19:30 からのEXPO会場（広い体育館）での次期国際会長主催の晩餐会に参加した。ケニアのPIPワブレさんの息子さんや台中からのメンバーと同席し楽しい夕食会であった。

第3日目

午前中は昨日の分科会の纏めの報告、IBC締結サインが行われた。（次ページに続く）

